

# すすめよう！男女共同参画

問合せ先

役場企画課企画調整係  
(内線212)

## ◆情報化社会におけるメディア・リテラシー

メディア・リテラシーとは、テレビ、インターネット、新聞や雑誌などのメディアを通じて流れるさまざまな情報を読み解いて、適切に活用する能力のことです。

私たちは、テレビから流れるコマーシャルやインターネットの普及などによって、メディアからさまざまな情報を受け取っています。また、情報化社会が進展している現在、その情報量は増加しています。

このようなメディアからの膨大な量の情報は、意識するしないにかかわらず、私たちの価値観や考え方などに影響を与えています。

しかし、メディアが伝える情報が、いつもありのままを表しているとは限りません。伝える側の意図や目的によっては表現方法が異なりますし、ときには、多くの人の目をひくために、誇張などの表現が含まれたりすることもあります。

そこで、メディア・リテラシーが重要となっています。

## ◆男女共同参画から見たメディア・リテラシー

メディア・リテラシーは、男女共同参画だけに関係する言葉ではありません。ではなぜ、男女共同参画のキーワードとして登場するのでしょうか。それは一部のメディアで、男女共同参画社会の意識づくりに影響を及ぼしかねない表現が見受けられるからです。

例えば、「男性は仕事、女性は家事や育児」といった

性別によって役割を固定する表現、「女社長」「女性記者」「女医」といった職業や地位に触れるときに女性の場合だけ性別を用いた表現などです。

## ◆メディア・リテラシーを身につけよう

情報化社会である今こそ、男女共同参画社会の進展を図るためには、メディア・リテラシーを身につける必要があります。情報化社会は、私たちの生活を豊かにしますが、一方で無意識に情報を取り入れていると、自然と偏ったイメージが刷り込まれてしまう危険があるからです。メディアからの情報を鵜呑みにするのではなく、自分の頭で考えてから情報を取り入れること、またその情報を基に行動することが男女共同参画社会の形成に欠かせません。

## ◆講演会のご案内

広報1月号でもご案内しましたが、町は男女共同参画社会の実現に向けて、本町出身の阿部夕子<sup>さん</sup>を講師に迎え、講演会を開催します。入場無料としていますので、興味がある人はお気軽にご参加ください。

▷と き 2月5日(月)、午後2時～

▷ところ 帯広大谷短期大学

▷テーマ 自分らしく仕事、家庭、地域などあらゆる分野で夢や希望を実現できる社会をめざして